



# くりかえしの美

2015年6月10日 [水]

— 9月10日 [木]



南野馨 《untitled 1402》 2014 / 陶 / 146.0×152.0×152.0cm

いろいろな形をくりかえすことで、作られている作品がたくさんあります。

同じ形がくりかえされたり、くりかえされる中で形や色が少しずつ変わったり、一定の規則にしたがってくりかえされることで、さまざまな表現が生み出されます。また、くりかえされる形が、一つの作品を作り上げていることもあります。

くりかえしによって生み出される作品には、どのようなものがあるでしょうか。色々な作品で、何がどのようにくりかえされているでしょうか。

この展覧会では、作品に用いられ、作品を形づくる重要な方法となっている「くりかえし」に注目し、33作家による約50点の作品によって、くりかえしを通じて造形の世界を楽しみながら探ります。

## 【特別出品】

陶による形を組み立てて大きな作品を作っている南野馨（みなみのかおる 1966年大阪府生まれ）の作品《untitled 1402》を特別出品いたします。

## 関連事業

### ●フロア・レクチャー（学芸員による展示解説）

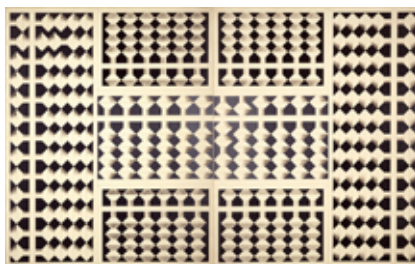
6月27日（土）、7月11日（土）、8月8日（土）、9月5日（土） ※14時から、展示室Bにて（要観覧券）

### ●ワークショップ

8月22日（土） 特別出品いただいている作家、南野馨さんによるワークショップを開催する予定です。



01.



02.



03.



04.

01. 山中嘉一 《Sky-zone》 1968 /シルクスクリーン、キャンバス / 162.0×97.0cm 02. 関根美夫 《作品 #395-396》 1975 /油彩、キャンバス / 162.5×261.2 03. 吉原英雄 《シーソー 1》 1968 /石版、銅版 / 100×100cm 04. 磯辺行久 《WORK 62-12》 1962 /油彩、大理石粉、木他 / 182.2×127.6

## 開催概要

会場 和歌山県立近代美術館 展示室 B

会期 2015(平成 27)年 6月10日 [水] - 9月10日 [木]

開館時間 9時30分 - 17時 (入場は16時30分まで)

休館日 月曜日 (ただし7月20日は開館し、翌21日休館)

観覧料 一般 340 (270)円、大学生 230 (180)円 ( )内は20名以上の団体料金

\*高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料、毎月第4土曜日は「紀陽文化財団の日」として大学生無料

\*「コレクション展 2015-夏」と共通

### 【同時開催】

#### コレクション展 2015-夏

【会期】 6月10日(木) - 9月10日(木)

【会場】 1階展示室 ※本展と同会期

#### なつやすみの美術館 5 つぶやき おはなし ものがたり

【会期】 7月14日(火) - 8月30日(日)

【会場】 2階展示室

### 和歌山県立近代美術館

学芸担当：奥村泰彦 広報担当：島

〒640-8137 和歌山市吹上 1-4-14

TEL 073-436-8690 (代表)

FAX 073-436-1337

E-MAIL moma\_w@future.ocn.ne.jp

WEB <http://www.momaw.jp/>